

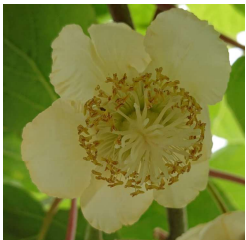
湿害に強い「Bounty」台‘ハイワード’の花腐細菌病対策

ビニル被覆や環状剥皮により花腐細菌病の発生を抑制

耐水性が強く、水田転換園での栽培が期待される*A. macrosperma*のBountyを台木としたハイワードは、花腐細菌病の発生が他の台木より多い傾向にあったため、ビニルの被覆や環状剥皮の耕種的防除を検討した。



花腐細菌病発病花



健全花

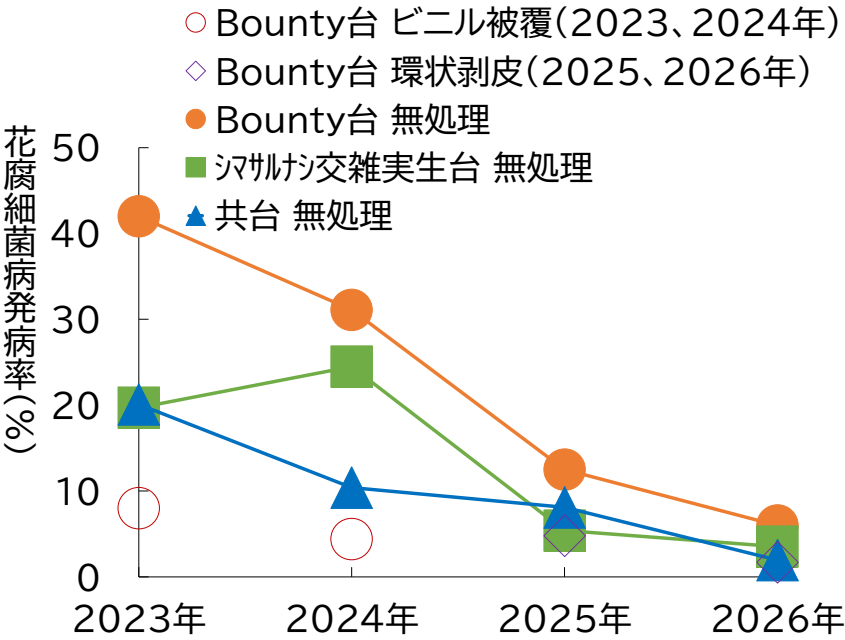


図 花腐細菌病発病率の推移 ※n=3



ビニル被覆
(開花1か月程度前～受粉後)



環状剥皮
(開花20日程度前、主幹1cm幅)

表 追熟果の果実品質(2025年10月29日収穫)

処理区	果実重 (g)	果実の大きさ(mm)			糖度 (° Brix)	酸含量 (g/100ml)
		縦径	横長径	横短径		
Bounty台 環状剥皮	132.7	72.0	57.9	50.1	14.0	0.25
無処理	123.0	68.8	56.7	49.2	14.4	0.30
シサルサ交雑実生台	116.0	65.8	56.5	49.5	14.8	0.30
共台	114.6	69.4	54.4	49.1	14.6	0.51

Bounty台ハイワードは、花腐細菌病の発生が他の台木より多い傾向にあるが、
○開花1か月前から受粉後までのビニル被覆
○開花20日前の主幹への1cm幅の環状剥皮 で発生を抑制することが可能。
ビニル被覆、環状剥皮ともに果実品質への影響は見られなかった。